

「出題の意図」

選抜区分	2025年度 （選抜区分：一般選抜 後期日程） 外国語学部 国際関係学科 （科目名：面接）
出題の意図 （評価のポイント）	〈面接の意図・ねらい〉 後期日程の面接は、国際関係に対する問題意識と学習意欲を受験生自身の言葉で語ってもらいながら、自分の考えを口頭で論理的に表現する能力をはかることと、円滑なコミュニケーションを遂行する力を有しているかを確認することを目的としている。面接官の問いかけに受験生が真摯な態度で適切に応答しているか、大学での学習に向けた準備をどのようにどの程度まで進めているかを中心に、受験生の力を判断した。 〈評価のポイント〉 多くの受験生は本学の募集要項やホームページ、そして国際関係学科が作成したパンフレットで、ディプロマ・ポリシーやアドミッション・ポリシーを調べて周到に準備をしていた。これまで自分が体験したことや将来目標をしっかりと説明できた受験生は、面接官に好印象を与えることができた。一方、国際関係学科で何を学びたいのか、なぜ国際関係学科に進学したいのかについて、ホームページやパンフレットで得られた情報をそのまま述べるだけのように見えた受験生もいた（留学したい、外国に関心がある、外国語を学びたい、など）。模範解答を丸暗記しただけでは、面接官への説得力が欠けてします。自分が高校時代までに何をしてきたのか、これからそこで身につけたことをどう伸ばしていくのか、具体的に説明できなかつたりした場合は、学習意欲や表現力・コミュニケーション力の面で存在感を示すことができない。問いに対する解答を自分の関心に基づいて論理的に組み立て、真摯さと熱意をもって面接官に丁寧に話すことが肝要である。また本学科でできることと、自分がしたいことを整理して述べる必要もあるだろう。

--	--

--	--